



【姉妹都市インド・ムンバイ市で開催された「ヨコハマ・フェスティバル」の様子】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 17 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp

## インド・ムンバイ市でヨコハマ・フェスティバルが開催されました

横浜市とインドのムンバイ市は 1965 年に姉妹都市提携を行っており、提携 50 周年を迎えた 2015 年の秋に横浜市ムンバイ事務所を開設しました。12 月 7 日、同事務所の主催により、横浜の魅力をムンバイの皆様にお伝えする「ヨコハマ・フェスティバル」が初めてムンバイで開催されました！



宮坂ムンバイ事務所長とラワット同事務所職員が準備に奔走する中で、ムンバイ市政府、JETRO、JNTO、日本国総領事館等多くの関係者の皆様のサポートもいただき、開会式には、ムンバイ市の Mahadeshwar 市長が自ら登壇された他、野田亮二在ムンバイ日本国総領事にもご出席頂きました。



経済、観光、教育の 3 分野に分かれたセミナーでは、日印両国の経済関係者、観光関連企業、大学関係者同士で活発な議論が行われました。横浜の優れた投資環境を説

明するセミナー、横浜の観光地を組み込んだ旅行商品造成のワークショップ開催等により、200 名を超える参加者の皆様には横浜の魅力が伝わったと思われま



## 第 40 回ユニセフハンド・イン・ハンド募金活動に参加しました

12 月 15 日、JR 桜木町駅前広場にてユニセフハンド・イン・ハンド募金が行われました。国際局は横浜市の小学生、中学生、ボランティアの方々と共に活動に参加し、一人でも多くの方々に世界の子どもの現状を伝えようと支援への協力を呼びかけました。



今回の活動で集まった募金は、世界 150 以上の国と地域で、子どもたちの命と健やかな成長を守るためにユニセフが実施している保健、栄養、水と衛生、教育等の事業を支える資金となります。こうした取組を支援することなどを通じて、国連が採択した“誰一人取り残さない”を理念とした SDGs の達成に向け、引続き協力していきます。

## シティネット横浜プロジェクトオフィスで台北市職員が活躍

7 月から 6 か月間に渡って、台北市職員のシンシアさんがシティネット横浜プロジェクトオフィスに派遣され、横浜市が参加するシティネット（アジア太平洋都市間ネットワーク）の活動に参加しました。



8 月にフィリピンで開催されたシティネット防災分科会で各都市とのコーディネートを行ったり、9 月や 12 月の視察・研修受入のサポートを行ったり、オフィスの一員として活躍していただきました。

シンシアさんは、「横浜での派遣中に防災に関する国際協力事業に関われたことや視察受け入れなどに参加できたことは素晴らしい経験になった。台北市での今後の業務に生かしていきたい」と派遣期間中を振り返っていました。